



平成25年度版



大牟田市 消防本部

# 大牟田市民憲章

制定 昭和57年7月21日

私たちは、三池山と有明の海に抱かれ、燃ゆる石のふる里に住む大牟田市民です。  
私たちは、みずからの責任において、互いに力を合わせ、未来にはばたく大牟田の町をきずくため、この憲章を定めます。

活力ある豊かな町にしましょう。

自然と調和したきれいな町にしましょう。

教育を重んじ、文化をはぐくむ、健やかな町にしましょう。

親切な、心あたたかい町にしましょう。

決まりを守り明るい町にしましょう。



## は　し　が　き

この年報は、大牟田市における消防の現況と推移並びに平成24年中の消防行政に関する事項を集録し、将来の参考に資するために作成したものです。

消防関係者はもとより、あらゆる方面で広く御活用いただき、本市消防行政を御理解いただく一助となれば幸いです。

平成25年7月

大牟田市消防本部

# 目 次

## 総務（全般）

大牟田市の消防の沿革	1~8
消防庁舎の状況	9
組織機構	10
大牟田市消防本部・消防団配置状況	11

## 総務（人事）

歴代消防長・団長	12
歴代消防署長・殉職者	13
職員の年齢	14
教養研修状況・特殊技能資格取得状況	15
職員採用試験受験者数の推移	16

## 総務（予算・施設）

平成25年度費目別消防費当初予算（歳出）	17
最近5年間の消防費決算状況財源別内訳表	18
消防通信	19
消防自動車の性能状況	20
消防車両配置状況・年度別車両拡充状況	21
特殊器具配置状況	22

## 消防団

分団格納庫一覧	23
消防機械配置並びに性能状況	24
消防団員数推移・年齢別団員数	25
職業構成・就業形態	26
平成24年度 消防団員出場実績	27
消防団予算（歳出）	28

## 予防関係

危険物施設数・推移	29
危険物事務取扱い及び査察状況・完成検査前検査及び仮貯蔵扱いの数	30
少量危険物・指定可燃物・毒劇物貯蔵取扱い届出数	
LPG 及び圧縮アセチレンガス貯蔵取扱い届出数	
防火管理者選任状況等調査	31
建築申請件数と内訳	32
防火対象物建築同意件数	33
高層建築物	34
各種届出状況・防火管理者講習会実施状況	35

## 火災関係

校区別消防水利	36
気象状況	37
月別火災件数及び損害状況	38
曜日別火災件数	39
出火時間別火災件数	40
気象別火災件数	41
原因別火災件数	42
校区別月別火災件数	43
平成24年中の主な火災	44

## 救急関係

月別・救急種別救急状況	45
救急出動状況の推移	46
小学校区別・救急隊別出動状況	47
時間帯別・救急種別出動状況	48
曜日別・救急種別救急状況	49

受診科目別・救急種別搬送状況	50
年齢区分別・事故種別搬送状況	51
傷病程度別・性別・救急種別搬送状況	52
救命救護出動状況	
<b>救助関係</b>	
救助活動状況	53
事故種別救助活動状況	54
月別事故種別出動・活動件数	55

# 総務（全般）



## 大牟田市の消防の沿革

本 部 ・ 署				団			
年	月	主 な 変 遷		年	月	主 な 変 遷	
明治 27	2	消防組規則(勅令第15号)制定					
//	4	大牟田町旧村別消防組結成(大牟田、横須、稻荷、下里)					
//	11	三川村、駢馬村消防組結成					
35	3	三池町消防組結成 4部235名					
37	4	大牟田町消防組結成消防統一 420名 (大牟田、横須、稻荷、下里)					
大正 元	10	三川村町制施行		大正 3	8	浜田町堤防決壊水害発生	
6	3	大牟田町市制施行、大牟田市消防組結成 11部、305名		昭和 4	4	三川町大牟田市に合併	
昭和 5	1	大牟田市常備消防隊開設(冬季のみ夜間勤務 隊員11名、消防車1台)		8	5	大牟田市庁舎火災全焼	
//	9	大牟田市常備消防隊年間常時隔日勤務		9	9	大牟田市防護団結成11分団、5,000名	
8	7	分団詰所で三川出張所仮開設		12	11	大牟田市防護団改組、東、西、南、北 4分団、4,000名	
14	4	大牟田市常備消防隊隔日勤務15名、2台		13	4	駢馬村、町制施行	
16	4	三池町、駢馬町、銀水村、玉川村、大牟田市に合併		14	1	警防団令(勅令第20号)制定	
18	7	特設消防署規定改正		//	4	大牟田市警防団結成11分団、1,506名	
//	//	官設大牟田消防署仮開設		17	8	海岸堤防決壊大水害発生	
//	//	大牟田消防署開設(旧常備建物)署員31名		18	7	大牟田市警防団水上分団新設 (20分団)3,804名	
//	//	三川町出張所仮開設(11分団詰所)		//	//	三川町出張所仮開設(11分団詰所)	
19	4	駢馬派出所開設					
//	7	通町、銀水、横須派出所開設					
//	9	大正町派出所開設					
//	11	旭町出張所開設					
//	//	上官町派出所開設					
//	12	三川町出張所落成					
//	//	三池町派出所開設					
20	6	本署新庁舎落成(浄真町)		20	6	空襲により市街地焼失する	
//	7	駢馬、横須派出所爆撃により焼失					
//	//	旭町、大正町出張所爆撃により焼失					
//	8	久留米分駐隊派遣隊員54名 消防車5台					
//	//	久留米分駐隊帰隊					

			昭和 22	4 消防団令（勅令第185号）制定
			// 10	大牟田市消防団結成 団員2,154名
			// 12	消防組織法法律第226号公布
昭和 23	3 消防組織法施行、自治体消防発足			
//	// 自治体消防発足、本部署員103名			
//	// 消防法施行			
//	// 大牟田市消防本部、消防署設置条例制定公布			
//	7 高田村及び荒尾市と消防相互応援協定締結		23 8	官名改正、消防団令制定（政令59号）
			// 12	消防団設置規定
24	4 常設消防力基準の制定		24 9	水上分団廃止、分団名改正（学校名19分団）
//	8 水防法の施行		// 12	都市等級調査（7級）
25	4 消防吏員の服制制定		25 2	消防団員服制制定
26	2 火災予防条例準則告示			
//	7 南関町と消防相互応援協定締結			
27	2 明治町出張所を職員特別住宅として使用			
//	6 海上保安部長及び三池港長との消防業務協定締結			
//	7 国家消防庁を国家消防本部に改称			
28	4 消防賞じゅつ金条例制定		28 4	消防団条例制定19分団 42部 905人
//	// 日出町出張所開設 望楼24m			
29	6 山川村と消防相互応援協定締結		29 1	県消防協会長表彰受賞（団）
30	1 県知事表彰受賞			
//	9 上官町派出所を移設し勝立出張所開設		30 11	消防団員等公務災害補償共済基金法施行
31	2 日本消防協会長表彰受賞			
//	3 消防専用中短波無線電話装置設置			
//	4 消防本署望楼新設 31m			
//	12 大牟田市工場防火協会大牟田市石油防災協会結成			
32	3 大牟田市任意救急隊発足（消防車による）		32 9	県操法大会優勝（自動車部）銀水6部
//	11 大正町出張所開設			
33	9 日本損害保険協会により消防自動車寄贈			
//	// 本署、日出町出張所に5馬力動力サイレン設置			
34	3 国家消防本部表彰旗受賞（署団）		34 3	国家消防本部表彰旗受賞（署団）
//	4 国家消防本部に消防大学校設置			
//	7 都市等級調査（第2回） 5級			
//	6 消防庁任命資格を定める政令施行			
//	9 危険物政令施行			

昭和 35	7	国家消防本部を消防庁と改称					
//	8	大牟田市危険物安全協会発足					
//	9	消防本部、署庁舎改築					
36	4	消防法施行令、規則施行	昭和 36	4	退職消防団員の報償実施		
//	8	消防力基準制定					
37	3	スノーケル車購入配置					
//	5	消防吏員階級準則改定					
			37	10	日本消防協会表彰受賞（水害）		
//	11	救急自動車購入配置					
//	12	消防庁長官表彰受賞（署、団）					
			//	12	消防庁長官表彰受賞（署、団）		
			38	3	建設大臣表彰受賞（水害）		
			//	7	集中豪雨による大水害発生		
38	8	危険物一般防災協会発足					
			//	11	三井鉱山三川鉱爆発		
39	2	救急業務実施義務市町村政令指定					
//	4	救急業務実施義務政令指定					
//	12	消防水利基準制定	39	12	消防団員階級準則制定		
40	10	大牟田市消火器検査協会発足	40	12	国鉄と西鉄バス衝突事故		
41	8	工場防火協会と災害時消防協定成立					
//	12	消防用超短波無線電話機設置					
			42	6	大浦・三塚山山林火災		
42	7	液化石油ガス貯蔵又は取扱の届出義務					
//	10	筑後地区消防設備士会大牟田部会発足					
43	3	液化石油ガス法施行					
//	9	消防庁長官表彰受賞（署・団）	43	9	消防庁長官表彰受賞（署・団）		
//	//	大牟田及び大牟田中央ライオンズクラブより 救急自動車寄贈					
//	11	日本損害保険協会より消防自動車寄贈（水そう付）					
			45	12	消防団（上内分団3部）に初めて小型動力ポンプ付 積載車配置		
46	2	化学消防車購入配置（一部寄贈）					
47		ピーポーサイレン取付け					
//	11	中央ライオンズクラブより広報車寄贈					
//	12	消防署長公舎廃止					
//	//	消防無線切替（県、市波）					
48	2	銀水派出所廃止					
//	5	高田町、山川町、及び瀬高町外2町消防組合と の消防応援協定締結					
//	10	救助訓練開始（久留米市消防本部へ5名派遣）					
//	12	三川町出張所改築開所					
//	//	救急車購入					
49	1	日出町出張所に救急車配置					
		救急隊2隊運用開始					
//	2	トラッククレーン車による救助活動基準制定					
//	3	東京海上火災保険K.Kより救助用器材寄贈					
//	//	三池港流出油災害対策協議会発足					
//	7	消防副士長制度採用					

昭和 50	3 梯子付ポンプ自動車購入（32m級）				
// 10	大牟田市危険物安全協会より小型広報車寄贈				
51 2	消防本部（署）庁舎2階部分増築 (通信指令室仮眠室)				
// 3	消防、救急指令装置（B型）設置				
// 11	日本損害保険協会より救急車（2B型）寄贈				
// 5	救助訓練塔（架設）設置				
52 1	不知火公舎廃止				
// 2	荒尾市、南関町、有明消防組合と新消防相互 応援協定締結				
// 7	職員6名増員、127名となる				
// 8	休日急救診療体制発足				
// 11	中央ライオンズクラブより救助工作車寄贈				
53 2	小型消防ポンプ自動車購入配置				
// //	救急用超短波無線電話装置の配置				
54 1	北部出張所用地買収				
// 3	三井コーカス工業株式会社と災害防止協定成立				
// 8	職員6名増員、133名となる				
// 12	3B型救急車購入				
55 1	日本損害保険協会より水そう付消防ポンプ自動車 寄贈				
// 2	CD-1型消防ポンプ自動車購入	昭和 55	3	ファクシミリ救急医療情報業務開始	
// 3	救急医療情報システム運用開始				
// 4	日出町出張所を廃止し吉野出張所開設				
// 5	消防本部、消防署機構改革				
// 11	16m級屈折放水塔付消防ポンプ自動車（スクア ート）購入（化学車廃止）	//	6	中央ライオンズクラブより消防団指令車寄贈	
56 1	三池港、大牟田港流出油災害対策協議会と名 称、内容一部変更				
// 2	本署改築（警防課事務室厨房他）				
// 3	本部（署）物品倉庫新築				
// 6	ガス洩れ爆発事故対策協定（電気、ガス事業者）				
// 11	2B型救急車購入	56	9	BS-1型消防ポンプ自動車（団）購入	
57 2	防災行政無線運用開始				
// 8	予防広報車購入	57	2	防災無線運用開始	
// 9	BS-1型消防ポンプ自動車（団）購入				
58 2	辻政則氏よりレサシベビー、被救助者用酸素呼 吸器寄贈				
// 3	本署自動車車庫、自転車置場新築	58	3	中友分団格納庫大正町出張所内より分離新築移転	
// //	勝立出張所を馬渡町から新勝立町5丁目へ新築移転				

昭和	58	10 職員特別住宅解体		昭和 58 9	BS-1型消防ポンプ自動車購入
		// // 指令車、資材搬送車購入			
		// // 片山喜一氏より酸素呼吸器寄贈			
		// // 三池公舎解体			
	59	2 訓練塔（鉄筋コンクリート造5階建）を勝立出張所内に建築	59	1	有明鉱災害（高田町）
	//	5 本署望楼（31m）解体撤去		60	8 台風13号
	60	4 通信指令装置（電子式）設置		61	3 笹林分団消防ポンプ自動車格納庫改築
				//	上内分団第2部、倉永分団第6部小型ポンプ格納庫改築
	61	9 2B型救急車購入		62	3 明治分団消防ポンプ自動車格納庫改築
				//	玉川分団6部小型ポンプ格納庫改築
				63	2 大正分団消防ポンプ自動車購入（更新）
	63	3 本部、本署（一部）改築（総務、予防課、3階講堂）			
	//	梯子車購入			
	//	4 大正町出張所を廃止し明治出張所を開設			
	//	5 特別救助隊発足		//	5
平成	元	3 救助工作車II型購入		平成 元	2 川尻分団消防ポンプ自動車購入（更新）
				//	9 団指令車購入（更新）
		// 11 防災指導車（新規）			
		// 12 2B型救急車購入（更新）			
		2 1 現場指揮車購入（新規）			
		// CD-1型消防ポンプ自動車購入（更新）		2	駿馬北分団消防ポンプ自動車購入（更新）
		// 6 物資搬送車購入（新規）			
		// 11 察察車購入（更新）		//	12 平原分団消防ポンプ自動車購入（更新）
		3 1 水-2型水そう付消防ポンプ自動車購入（更新）			
		// 4 大牟田市工場防火協会より人員搬送車寄贈		3	大型台風17号、19号来襲
		// 10 日本損害保険協会より水そう付消防ポンプ自動車寄贈			
		// 12 2B型救急車購入（更新）		//	12 手鎌分団3部小型ポンプ積載車（更新）
				//	玉川分団2部小型ポンプ積載車（更新）
				//	上官分団小型ポンプ積載車（軽新規）
				//	玉川分団5部小型ポンプ積載車（軽新規）
4	2	水-2型水そう付消防ポンプ自動車購入（更新）			
//	7	火災原因調査車（更新）			
5	2	本署消防ポンプ自動車CD-1（更新）		5	2 笹林分団 新機種CD-1（更新）
				//	3 銀水分団4部小型ポンプ積載車（軽新規）

			平成 5	3	駢馬南分団2部小型ポンプ積載車（軽新規）
			//	//	大牟田市コミュニティ消防センター（久福木新規）
平成 5	4	水難救助車（新規）			
//	8	潜水隊発足			
6	1	緊急通報システム発足	6	2	倉永分団3部小型ポンプ積載車（更新）
//	2	本署・水一2型消防ポンプ自動車購入（更新）	//	//	上内分団3部小型ポンプ積載車（更新）
			//	3	手鎌分団2部小型ポンプ積載車（軽新規）
			//	//	三池分団2部小型ポンプ積載車（軽新規）
			//	//	大牟田市コミュニティ消防センター（深浦新設）
			//	//	大牟田市コミュニティ消防センター（歴木新設）
//	6	大牟田市防災協会連合会発足		9	団本部消防指令広報車（新規） (日本消防協会より寄贈)
7	1	2B型救急車更新（本救）	7	1	阪神・淡路大震災発生
//	2	阪神淡路大震災出向	//	2	倉永分団第2部小型ポンプ積載車（新規）
//	3	完全防護服購入	//	3	白川分団新機種CD-1（更新）
			//	//	大牟田市コミュニティ消防センター (駢馬北新設)
//	4	本部、本署改装（1階・通信機械室、2階・予防課、総務課、通信指令室、仮眠室）	//	//	倉永分団第2部拠点施設（新設）
//	//	消防緊急通信指令施設Ⅱ型運用開始			
//	//	消防及び救急無線設備基地局更新			
//	//	消防無線全国共通波導入			
//	5	緊急通報専用ファクシミリ運用開始			
9	2	2B型救急車：吉野（更新）			
//	3	資材搬送車（更新）	9	3	上内分団1部小型ポンプ積載車（新規）
//	//		//	//	大牟田市コミュニティ消防センター（四箇新設）
//	4	消防署3部制本格実施（組織機構改定）			
//	//	本署自動車車庫増築、中庭舗装			
//	8	勝立救急隊（消防隊兼務）発足			
//	11	2B型救急車 勝立（更新）			
10	3	化学消防ポンプ自動車4型購入（新規）	10	3	指揮広報車（団指令車）購入（更新）
//	4	大牟田市防災行政無線運用開始			
//	//	携帯電話等による119分散受信開始 (柳川、瀬高消防管内含む)	11	3	明治分団新機種CD-1（更新）
11	3	救助工作車Ⅱ型（更新）	//	//	大牟田市コミュニティ消防センター（甘木新設）
//	//	本署 高規格救急自動車購入（更新：2Bから高規格）	//	//	手鎌分団5部小型ポンプ積載車（新規）
//	8	高規格救急自動車運用開始	//	8	銀水分団6部新機種CD-1（更新）
			//	12	女性消防団員入団（20名）

			平成 12	9	中友分団新機種CD-1（更新）
			//	//	三川分団新機種CD-1（更新）
			13	5	不知火分団資機材搬送車（更新）
平成 14	1	消防OAシステム運用開始 (火災、救急、救助、職員、団員、備品、危険物、防火対象物)	14	3	玉川分団第2部拠点施設（櫻野新設）
//	2	(水路管付)はしご付消防ポンプ自動車購入（更新）	//	//	上内分団第5部格納庫（岩本新設）
//	3	消防本部ホームページ公開 火災メールシステム運用開始	//	11	銀水分団第5部 小型動力ポンプ付積載車（軽） (新規)
			//	//	上内分団第5部 小型動力ポンプ付積載車（軽） (新規)
15	4	消防本部ホームページリニューアル 新キャラクター公開(だいじゅ君)	//	//	三里分団新機種CD-1（更新）
//	8	吉野 高規格救急自動車購入（更新：2Bから高規格）	15	12	三池分団第1部新機種CD-1（更新）
16	1	本署 現場指揮車購入（更新）	15	12	駿馬南分団拠点施設（桜町新設）
//	12	勝立 高規格救急自動車購入（更新：2Bから高規格） 緊急援助隊登録車両 IP電話による119受信開始	16	12	大正分団新機種CD-1（更新）
17	3	吉野 水-II型消防ポンプ自動車購入（更新）	17	7	羽山台分団発足（旧銀水分団第6部）
//	4	女性消防吏員採用	//	//	笠林・不知火分団統合（笠林分団へ）
//	11	携帯電話等による119直接受信開始	//	//	駿馬南分団第1部・第2部統合（第1部へ）
18	1	明治2分隊 水-II型消防ポンプ自動車購入（更新） 緊急援助隊登録車両	19	3	吉野分団第2部 格納庫（白銀新設）
			//	//	吉野分団第2部 消防ポンプ自動車配置 (三川分団より移管)
			//	//	手鎌分団第6部 格納庫（手鎌新設）
			//	//	手鎌分団第6部 小型動力ポンプ付積載車（軽） (新規)
			//	//	三川分団 小型動力ポンプ付積載車（軽） (新規)
			//	4	吉野分団発足（旧上内6部⇒吉野分団第1部） (旧銀水1部⇒吉野分団第2部) (旧倉永4,5部⇒吉野分団第3部)
			//	//	みなど分団発足（旧三里分団⇒みなど分団第1部） (旧三川分団⇒みなど分団第2部)
			20	2	吉野分団第3部 小型動力ポンプ付積載車(軽)(新規)
			//	//	倉永分団第1部 小型動力ポンプ付積載車(軽)(新規)
			//	//	倉永分団第6部 小型動力ポンプ付積載車(軽)(新規)
			//	//	手鎌分団第1部 小型動力ポンプ付積載車(軽)(新規)
			//	//	駿馬南分団第4部 小型動力ポンプ付積載車(軽)(新規)

平成 20	3	本署 CD-1型消防ポンプ車購入（更新） 消火泡圧縮空気混合装置付		平成 20	4	高取分団発足（旧三池2部⇒高取分団第1部） (旧三池3部⇒高取分団第2部) (旧三池5部⇒高取分団第3部)
11	6	消防緊急通信指令設備運用開始（更新） 携帯・IP電話位置情報通知システム導入 119FAX導入		11	5	高取分団第1部 消防ポンプ自動車（H5、登録）配置
21	3	本署 高規格救急自動車購入（更新）		21	3	川尻分団 消防ポンプ車（更新）配置
				11	3	上内分団第4部 格納庫建設（新設）
				11	1	吉野分団第1部 格納庫建設（新設）
				11	1	上内分団第2部 小型動力ポンプ付積載車(軽)（新規）
				11	1	上内分団第4部 小型動力ポンプ付積載車(軽)（新規）
				11	1	吉野分団第2部 小型動力ポンプ付積載車(軽)（新規）
				11	1	玉川分団第6部 小型動力ポンプ付積載車(軽)（新規）
				11	1	高取分団第2部 小型動力ポンプ付積載車(軽)（新規）
21	4	三川出張所廃止、三川分隊本署へ統合				
11	11	明治救急隊（消防隊兼務）発足		22	1	駢馬北分団 消防ポンプ車（更新）配置
22	3	明治 救助工作車Ⅱ型購入（更新）		11	3	玉川分団第1部 小型動力ポンプ付積載車(軽)（新規）
11	11	明治 消防車両車庫新築		11	1	銀水分団第1部 小型動力ポンプ付積載車(軽)（新規）
11	5	明治 高規格救急自動車購入（更新）		11	1	三池分団第2部 小型動力ポンプ付積載車(軽)（新規）
11	9	大林孚雄氏より高規格救急自動車（勝立）寄贈		11	1	三池分団第2部 格納庫建設（新設）
23	3	東日本大震災 緊急消防援助隊 消火部隊1隊出向		11	9	第21回福岡県消防操法大会 自動車の部 第3位
11	11	本部 市民広報査察車購入（更新）		23	2	平原分団 消防ポンプ車（更新）配置
11	11	本部 物資搬送車購入（更新）		11	3	東日本大震災 発生
11	4	三池初市実行委員会より防火教育普及資機材寄贈		11	4	天領分団仮格納庫へ移転
11	11	大牟田不知火ライオンズクラブより消防防災活動車（軽ワゴン）寄贈		11	12	消防団条例改正
				24	2	上官分団 小型動力ポンプ付積載車(軽)（更新） (日本損保協会より寄贈)
				11	3	駢馬南分団第1部 小型動力ポンプ付積載車(軽)（更新） 玉川分団第3部 小型動力ポンプ付積載車(軽)（更新） 手鏡分団第3部 小型動力ポンプ付積載車(普)（更新） 玉川分団第2部 小型動力ポンプ付積載車(普)（更新） 消防団ホームページリニューアル
24	4	筑後地域消防通信指令事務協議会設置		11	4	機能別団員制度発足
11	7	平成24年7月九州北部豪雨 活動支援隊1隊出向		11	6	消防団出場計画改正
11	12	友永正明氏より高規格救急自動車（吉野）寄贈				
25	2	本署 化学消防ポンプ自動車4型購入（更新）				

## 消防庁舎の状況

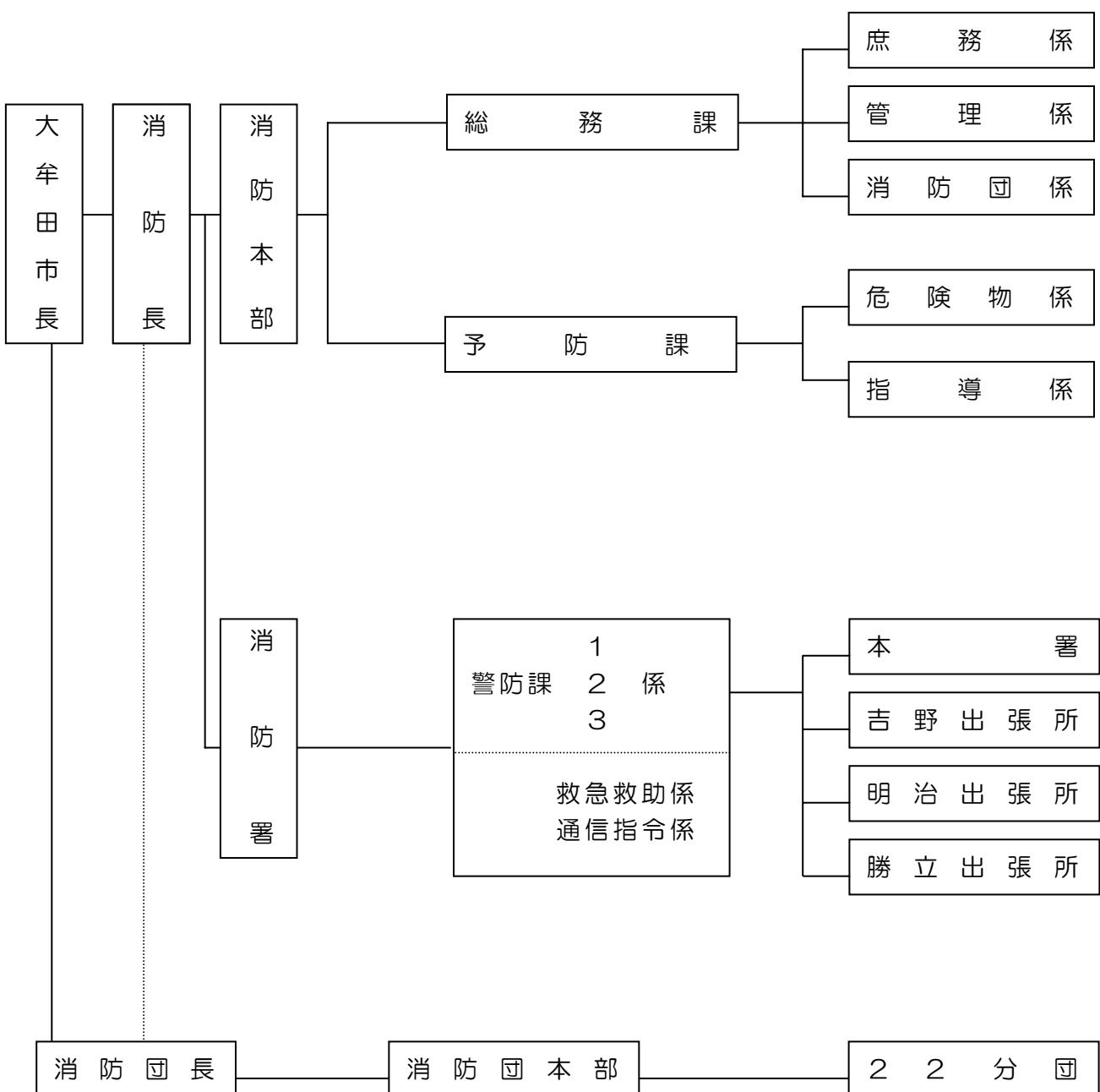
区分	現在地	敷地面積	用途	建築物の構造	床面積(m <sup>2</sup> )	備考
消防本部 (本署)	浄真町 4 6	1,990.51 m <sup>2</sup>	車庫・事務室・待機室	1階	533.15	1,270.553 m <sup>2</sup>
			事務室・仮眠室・指令室	鉄筋コンクリート陸屋根 2階	511.403	
			講堂	3階	226.00	
			物 品 倉 庫	1階	91.00	
				2階	102.55	
			車 庫	鉄 骨 ス レ ー ト 葦	59.40	
			車 庫	鉄 骨 ス レ ー ト 葦	81.40	
			自 転 車 置 場	鉄 骨 ト タ ン 葦	16.296	
			屋 内 貯 蔵 庫	コンクリートブロックタン貯	4.49	
			小 計		1,625.689	
吉野出張所	大字白銀 3 6 - 2	1,206.22 m <sup>2</sup>	車庫・事務室・待機室	1階	251.25	392.065 m <sup>2</sup>
			仮眠室・会議室・更衣室	鉄筋コンクリート陸屋根 2階	125.25	
			階 段 室	3階	15.56	
			L P G 置 場	ブロック造スレート葺鉄扉	1.36	
			自 転 車 置 場	鉄 骨 造 鉄 板 葦 吹 払	9.8	
			小 計		403.22	
明治出張所	健老町 3 8 - 8	1,663.08 m <sup>2</sup>	車庫・研修室・その他	1階	343.75	578.75 m <sup>2</sup>
			仮眠室・事務室・待機室	鉄筋コンクリート陸屋根 2階	235.00	
			車 庫	鉄 骨 造 平 屋 建	48.00	
			L P G 置 場	ブロック造スレート葺鉄扉	3.12	
			自 転 車 置 場	鉄 骨 造 鉄 板 葦 吹 扟	9.5	
			小 計		639.37	
勝立出張所	新勝立町 5丁目1 - 2	824.28 m <sup>2</sup>	車庫・事務室・待機室	1階	193.38	282.13 m <sup>2</sup>
			仮 眠 室 ・ 更 衣 室	鉄筋コンクリート陸屋根 2階	72.25	
			階 段 室 ・ 倉 庫	3階	16.5	
			屋内貯蔵庫・L P G 置場	ブロック造スレート葺鉄扉	2.72	
			自 転 車 置 場	鉄 骨 造 鉄 板 葦 吹 扟	4.9	
			訓 練 塔	鉄筋コンクリート陸屋根	143.42	
			小 計		433.17	
合				計	3,101.449	

## 組織機構

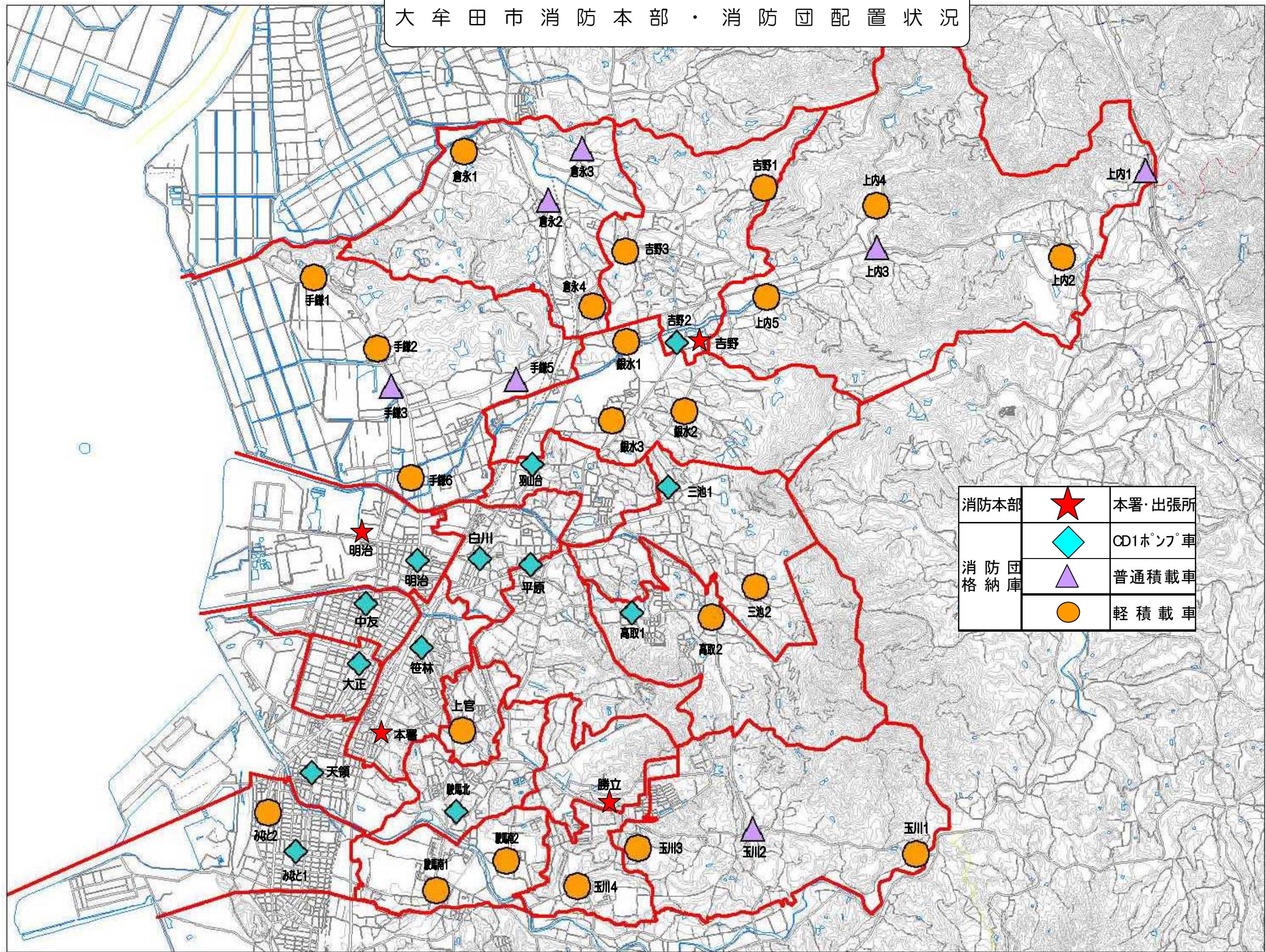
名称、位置管轄区域

名 称	位 置	管轄区域
大牟田市 消防本部	大牟田市浄真町 46	市内全域
// 消防署	同 上	//
// 吉野出張所	大牟田市大字白銀 36-2	市内北部
// 明治出張所	// 健老町 38-8	// 西部
// 勝立出張所	// 新勝立町 5 丁目 1-2	// 東部

消防本部（署）の機構



大牟田市消防本部・消防団配置状況



消防本部	★	本署・出張所
消防団	◆	CD1ポンプ車
格納庫	▲	普通積載車
	●	軽積載車